

☆平 30 年度事業 べに つ い て

◆登って爽快inポロヌプリ岳登山(興部町) ◆登って爽快inポロヌプリ岳登山(興部町) 毎年興部町ポロヌプリ岳で開催されてい 毎年興部町ポロヌプリ岳でで表 は4月28日(土)に無事開催することができ、 4日28日(土)に無事開催することができ、 4日28日(土)に無事開催することができ、 4日28日(土)に表別の意味を表別の意



ちよさそうに斜面ない絶景でした。スムの達成感に包まれたの おノながりしがか を颯爽と滑 ながら見る景色はかかっていましょ その っ方 ゃ 7て下山していたちは、気は泉色はこの上が、登山にが、登山にが、登山

い持いな山

2日 (木)

, 月 31

日

たって、

わんぱく 日間

「 中 が が が る 30

年度少年少女自然体験学習事業

村」(興部町)

西ピ | 部 森

員会事務局)

-務局)主催事業1(興部町教育委

年 年 で 開催 は、 がのウェンシ:林林室では、#林室では、# しています シリ岳における登山会を隔、雄武町のピヤシリ湿原と山ツアー(雄武町)

部今 町教育委員会と共同で「ピヤシ年は、7月1日(日)に雄武町観 を開催しま した。 ンリ湿原登氏光協会・



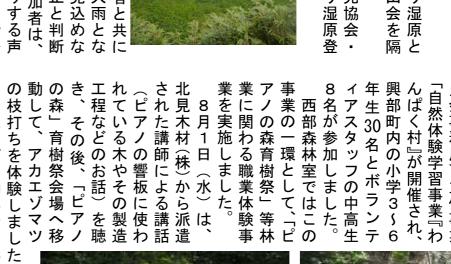
「これの登山を楽した」であったため、やむを得ずツアーを中止と引てかったため、やむを得ずツアーを中止と引てかったため、やむを得ずツアーを中止と引ている途中から大雨となバスで登山道を走っている途中から大雨となバスで登山道を走っている途中から大雨となバスで登山道を走っている途中から大雨とないるできれば、 「今度はいつ開催するの?」と、次回を期待はあったものの、不満を口にする方はおらず、「ここまで来たのに残念」とがっかりする声 次回を期待

定です 来年は、ウエンシリフする声もあがりました。 職員による事前準備の時に撮影したもので、みなさん是非ご参加ください。(写は、ウエンシリ岳登山会を開催する予

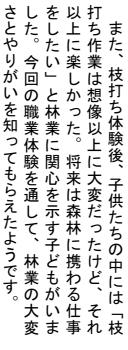


不の名前をしっかいなかった」と堅い種類によって、イタヤ

t=



ラー より、ようなど、ようよりではようにある。 いたが、森林室職員からアドバイスを受をスムーズに動かせない」と苦戦しての枝打ちを体験しました。初めは「ノ動して、アカエゾマツ動して、アカエゾマツき、その後、「ピアノ つ とたくさんやりた その楽-と休憩時間もな しさを知っ ·バイスを受け、「と苦戦していま」を苦戦していまし た子どもたちは、 早く お できるよ





では、 類による堅さの違いを体感してもらいました。 \Box 19ヤカエデ、トドマツでは、4種の木(ケヤマハでは、4種の木(ケヤマハ - | スター -作りを行う **木** 行いま. には、-もした。丸·丸太切り: を用意-丸太切り体験の外体験と木の 木の種

り覚えてい さんなに カエデが マ ていました。いを実感し、4種のに違いがあるとは思かった。*

とんがり館の 利用者の様子

っと楽しみにしていた」と嬉しそうな様子でんがり館でコースターにお絵かきするのをずびにきてくれて、森林室職員が顔を出すと「とがにきてくれて、森林室職員が顔を出すと「と開放しています。 毎年5月から10月まで、西部森林室庁舎建 「とんがり館」には、お絵かきをしていました。

でなく ども展示 用 ください。 しているので、 風木のおもちゃや戸 がしている 木のおも がり館」 興味のある方は、是や自然に関する写真な木のコースターだけ



・・・お知らせ・・・

「子どもたちと森にふれてみませんか」

西部森林室では子どもたちに森林の大切さを理解しても らうため、森林環境教育に取り組む小学校等の支援を行っ ています。今年度も「森を学ぶ」「森の恵みで創る」の木 育プログラムに基づいて、出前木育教室を行います。詳細 については下記にお問い合わせください。

★発行:北海道オホーツク総合振興局西部森林室

TEL 0158-82-2158(代表)

担当: 主査(木育推進)0158-82-2082(直通) FAX 0158-82-2160

〒098-1607紋別郡興部町字興部708番地

【HP7ト レス】 http://www.okhotsk.pref.hokkaido.lg.jp/ds/ssr/

◆森林学習の推進 ◆森林学習の推進 ◆森林学習の推進 ・本語が出生のはたらき(講話・実験) ・会社では様々な木育プログラムを S他(ご希望があれ」教室(おが粉アー 様々な木育プログラム あればご相談ください材アート・端材で工作) しものほか) 押し花)

「を提供